

TEL 233 340 000
FAX 224 313 684
Email Jschool@volny.cz

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

大使館からのお知らせ

在チェコ共和国日本国大使館より3月23日付で下記のメールがありました。皆様にも送達されていると考えましたが、内容を考慮し、配付させていただきました。

記

平成28年3月23日

在留邦人・邦人旅行者各位

在チェコ日本国大使館

～海外安全情報（広域情報）～

ブリュッセルにおけるテロ事件後のチェコ国内情勢と注意喚起

～テロ・爆発が発生した際の留意事項、在留届・「たびレジ」登録のお願い～

1 テロ事件を受けたチェコ国内情勢

22日、チェコ政府は、ブリュッセルで発生したテロ事件を受け、関係閣僚等による緊急安全保障会議を招集し、チェコ国内におけるテロの脅威(※)を「1：要警戒状態、一般的脅威が存在している状態」に引き上げました。

これを受け、ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ空港を始めとした国際線発着空港、地下鉄、原子力発電所などでは警戒体勢が強化されております。

チェコ国内治安情勢に関しては、依然として差し迫った具体的な脅威は見られませんが、邦人の皆様には、イースター休暇を控え、テロや脅迫犯罪等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、外務省が発出する海外安全情報及び報道などにより、最新の治安情勢など関連情報の入手に努め、危機管理意識を高めるようにして下さい。

※ チェコ国内テロ脅威評価（4段階）

0：安全な状態

1：要警戒状態

2：チェコ共和国に向けられた漠然とした脅威が存在する状態

3：国内で何らかのテロが発生する可能性が高い状態

2 ブリュッセルにおけるテロ事件の発生に伴う注意喚起

(1) 3月22日朝（現地時間）、ベルギーの首都ブリュッセル近郊のザベンテム（Zaventem）国際空港の出発ターミナル付近で2回の爆発が発生しました。また、ブリュッセル中心部の地下鉄のマルベーク駅（Maelbeek/Maalbeek Station）においても爆発が発生しました。報道によれば、合わせて少なくとも34人が死亡、198人が負傷しました。

(2) ベルギー検察庁は、空港での2回の爆発のうち1つは自爆テロであったと断定し、実行犯3人のうち2人が死亡したものの、残りの1人について現在も逃亡中であると発表しました。なお、ベルギー政府は、本事案の発生を受けて、ベルギー全土のテロの脅威度を最高レベルの4（非常に高い。非常に危険な状態であり、事態は切迫している）に引き上げました。

(3) 本事件については、「ISILベルギー」と称する組織名で犯行声明が発出されました。同声明では、ベルギーが反ISIL連合に参加していることを攻撃の理由として挙げ、同連合への参加国に対する更なる攻撃を示唆しています。

(4) ベルギーでの渡航・滞在については、これまでも安全について注意喚起をしていますが、更に警戒が必要な状況です。つきましては、同国においては、以上の状況を考慮し、不測の事態に巻き込まれないよう最新の関連情報の入手に努め、当面の間、不要な外出は避け、特に空港周辺、地下鉄の駅には近づかないようにしてください。また、やむを得ず、政府施設、公共交通機

関、観光施設、デパートや市場など不特定多数が集まる場所等テロの標的となりやすい場所を訪れる際には周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど安全確保に十分注意してください。

(5) また、ベルギー以外の国に渡航・滞在される方についても、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先についての関連情報の入手に努めるとともに、日頃から危機管理意識を持つよう努めてください。

(6) さらに、テロ・爆発事件に遭遇した場合に被害を最小限に抑えるため、例えば次の諸点を心がけられることをお勧めします。

(ア) 予防措置

ア 退避ルートを確認する。

イ 隠れられる場所を確認する。

ウ 常に周囲の状況に注意を払い、不審者や不審物を見かけたら速やかにその場を離れる。

(イ) 対処法

ア その場に伏せるなど直ちに低い姿勢をとる。

イ 頑丈なもの陰に隠れる。

ウ 周囲を確認し、可能であれば、銃撃音等から離れるよう、速やかに、低い姿勢を保ちつつ安全なところに退避する。

(海外旅行のテロ・誘拐対策パンフレット (<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html>) も併せて参照ください。)

(7) 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

海外渡航や在留の際に、緊急事態が発生した場合、外務省からは随時情報を提供いたします。上記のブリュッセルにおけるテロ事件のほか、昨年11月のパリにおける連続テロ事件等、緊急事態の発生に際しては、あらかじめメールアドレスを登録いただいた方には、一斉メールにより、情勢と注意事項をお伝えしています。

3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

また、3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。

(詳細は <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照)

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3047

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 5140

○外務省 海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>

(携帯版)

(在チェコ日本国大使館)

○電話：+420 257 533 546

<http://www.cz.emb-japan.go.jp/>

プラハ日本人学校からのお願い

プラハ日本人学校は、万が一の非常時には大使館と連絡をとりながら、お子様、皆様の安全確認を行います。そのため、チェコ共和国から国外に出られるときには、渡航日程などを連絡帳などで、ご連絡をお願いしています。